

1 第4回委員会 主な意見への対応

項目	ご発言	ご意見の概要		対応状況
用語・定義の確認	宮林委員 石井委員長	構成団体と調整し、統一が必要		用語の定義を確認し、表現を統一した
事業環境の見通し	鎌田委員	表現が見通しではなく現状になっている	P5	将来の状況を表すように表現を変更した
課題の整理	遠藤委員	将来の施設能力は企業団と構成団体では余裕の有無は違う	P6	5事業者の方向性を「（1）事業環境の見通し」に記載した
災害リスクのイメージ図	福田委員	災害以外のテロや感染症流行が表現されていない	P9	図をやめ、対策が必要なリスクとその影響を表にまとめた
職員構成の図	成田委員	技術職の職種別の人員構成が分からない	P11	職種を分けて表示した
管路老朽化の取組み	渡辺委員	課題としている管路老朽化への取組みが記載されていない	P19, 20	I-2の①に記載し、解説を追加した
広報の5事業者連携	長岡委員	広報は企業団単独よりも5事業者で連携するべき	P26	重視すべき視点の情報発信の3つ目の○の文章を追加
SDGsの位置づけ	福田委員	ビジョンとの関係性	P27	最終ページに「SDGsの各目標とビジョンの取組みとの関係」を追加
図・写真の差し替え	森委員 遠藤委員	老朽化に関するグラフ追加 災害時の対応写真の差し替え	P8 p22	施設の老朽化グラフを追加 河川訓練の写真に差し替えた

2 8月議会における新ビジョンに関する意見 一覧

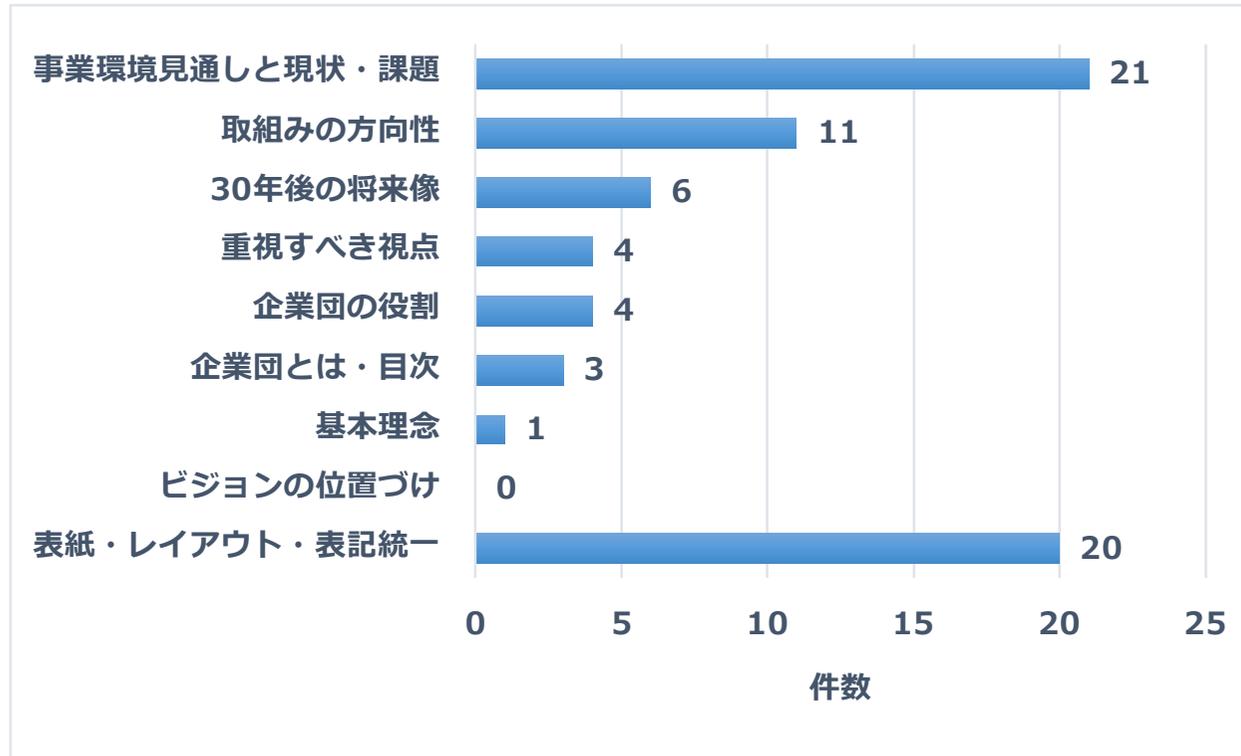
項目	意見・質問	回答
水道施設の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・減らす浄水場を明らかにすべきと考えるが、どこの浄水場を廃止して11箇所から8箇所に減らすのか。 ・構成団体はそのことについて了解しているのか。 ・3箇所を廃止しても、安定供給への影響はないと考えてよいか。 ・3箇所廃止による財政上のメリットを説明していただきたい。 ・5事業者で現在協議している事業費については、いつ頃提示されるのか。 ・何れにしても、再構築の内容と事業費は重要なことであるため、協議により確認された事項については、各事業者の了解を得て、示して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止を予定しているのは寒川浄水場、小雀浄水場及び有馬浄水場である。 ・5事業者間で検討している。 ・影響はない。 ・平成22年の「検討委員会報告書」での試算では、全体で661億円の縮減効果を見込んでいる（4構成団体の1275億円の縮減と、企業団の614億円の増強との差）。現在、5事業者で更なる縮減効果を生み出せるように検討を進めている。 ・まずは再構築事業の工程スケジュールについて協議をしている段階で、具体的な工事内容の協議はこれからなので、事業費は未だ回答できない。 ・了解した。

2 8月議会における新ビジョンに関する意見 一覧（続き）

項目	意見・質問の要旨	意見・質問への対応
水道施設の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・素案でイメージが示されている構成団体と企業団の施設能力の増減割合は具体的にどの程度か。 ・平成22年の試算の必要水量から見通しはほぼ変わっていないのか。 ・いったん減らしてしまうと増強はできないので、予測される必要水量は多少減るかもしれないが、その分は余力であると捉えればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年の「検討委員会報告書」の試算では、全体の施設能力が現状日量434万トンから約20%減の349万トンとなる（企業団は24%増強、構成団体は59%減少）。 ・人口は若干減少が進むと予測されている。
老朽化耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・社家の老朽化・耐震化対策は計画通り進んでいるのか、新ビジョンの期間で行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化はほぼ完了している。施設的には比較的新しいため、新ビジョンでは修繕工事などを計画的に進めていく予定。
官民連携	<ul style="list-style-type: none"> ・取水施設や浄水場の運転管理業務は委託化する方向なのか、直営で行っていく方向なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には直営で運転管理を行いたいと考えているが、職員数の推移・再構築事業への職員集中化など、業務と人員のバランスを踏まえ、伊勢原浄水場の運転管理委託の状況も慎重に検証したうえで、委託も一つの選択肢として考えていく。
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・職員採用の状況と今後の見通しについてお聞きしたい。 ・企業団は県民・市民に安全安心な水道を提供する魅力ある仕事であることをPRして、必要な人材を確保してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は14名を採用した。今後の再構築事業などで必要な土木職を必要な人数採用することは難しいため、Ⅲ種試験の継続や任期付き外部登用の検討などに取り組みたい。

3 新ビジョン素案に対する職員意見募集

職員への意見募集を行い（7/20～8/12）、70件（11名）の意見が集まり、55件については素案に反映しました。



【素案に反映した主な意見】

- ・ (p11)採用抑制だけでなく、業務効率向上の内部努力も現状に記載すべき
- ・ (p13,14)「最適な水道システム」の“4つの要素”、「水道施設の再構築」の“3つの取組み”、「取組みの方向性」の“3つの柱”の関係性が分かるように記載すべき